

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	04	164210	畜産基盤強化対策事業費	
総合計画	分野 しごと					
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	3	生産基盤の整備			
目的	畜産農家の生産基盤を強化する					
対象	市内畜産農家					
意図	畜産農家が行う簡易施設・機械整備及び電気牧柵設置へ一部補助を行い、生産基盤強化の環境を作る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○畜産基盤強化対策事業補助金 簡易畜舎、畜舎の付帯設備に関連する新築並びに増改築、低コスト生産機械整備、電気牧柵設置に要する経費の一部を補助 補助率 「施設及び機械整備」対象経費の1/5（上限200千円/件） 「電気牧柵」対象経費の1/2（上限70千円/件）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		○補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	簡易畜舎及び付帯施設整備	棟	計画	2	4	
			実績	4	4	
②	低コスト機械整備	台	計画	4	8	
			実績	8	13	
③	電気牧柵設置	箇所	計画	3	4	
			実績	5	1	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	簡易畜舎及び付帯施設整備	棟	目標	2	4	
			実績	4	4	
②	低コスト機械整備	台	目標	4	8	
			実績	8	13	
③	電気牧柵設置	箇所	目標	3	4	
			実績	5	1	
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
畜産関係の施設・機械整備については、現在、国や県の補助金制度があるが、対象が大規模農家や団体に対する補助制度となっている。また、国や県の補助金制度に要望しても全てが採択される訳ではなく、何年後に補助制度を利用し整備できるのか不透明なため、ほぼ見込みどおりの畜産経営体数が当事業を活用した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	花巻市の基幹産業である農業の一つである畜産の生産基盤を強化するため。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	基盤整備に対し一部補助することにより、農家負担が減り基盤強化を実現できる環境が整う。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	畜産農家の生産性向上及び経営安定に繋がるため、削減できない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	畜種に限らず全ての畜産農家を対象としており、公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
畜産農家の減少が続くなか、飼養管理に必要な施設整備や機械導入に対する補助事業は、持続的な畜産経営に有効なため当事業を継続していく。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	01	04	164210	畜産基盤強化対策事業費

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,346	2,636		1,290
財源内訳	国・県	1,229			△ 1,229
	地方債				
	その他				
	一般財源	117	2,636		2,519

事業期間	単年度繰返	〇	期間限定	[平成 26 年度 ~ 平成 29 年度]
------	-------	---	------	-----------------------

部重点施策における目標
農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める。

事業開始の背景・経緯
畜産関係の施設・機械整備については、現在、国や県の補助金制度があるが、対象が大規模農家又は、団体に対する補助制度となっている。上記制度に要望しても全て採択されずいつ整備できるか不透明であり、上記補助制度を補完する制度が求められている。また、購入飼料価格の高騰が続いており、電気牧柵を設置し放牧する事により農家の負担が軽減される。

事業概要
○畜産基盤強化対策事業補助金
簡易畜舎、畜舎の付帯設備に関連する新築並びに増改築、低コスト生産機械整備、電気牧柵設置に要する経費の一部を補助
補助率 「施設及び機械整備」対象経費の1/5（上限200千円/件）
「電気牧柵」対象経費の1/2（上限70千円/件）

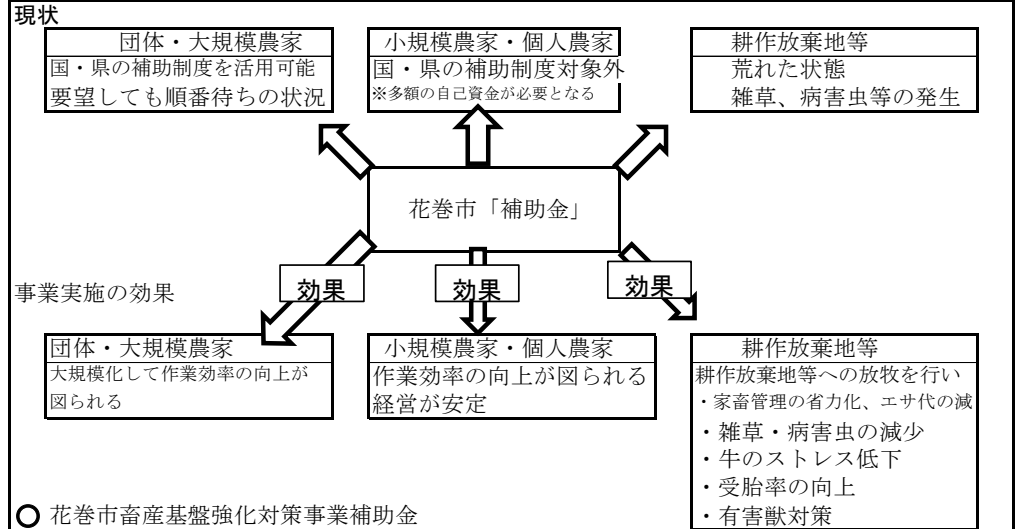
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

施設・機械整備の一部を補助するものであるが対象経費の1/5（上限200千円）としている為、整備が高額となる場合の各農家負担が大きくなる。
電気牧柵設置による放牧は、飼養管理の軽減策として有効であり、農家への周知や理解の向上が必要である。

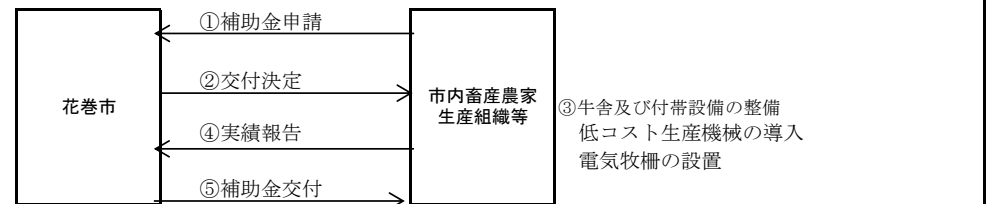
担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 小原 慶悦 内線 6-290

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 花巻市畜産基盤強化対策事業補助金
対象：I 市内畜産農家が整備する簡易畜舎及び畜舎の付帯設備に関連する新築並びに増築
II 低コスト生産機械の導入（現在よりも生産性が上がる機械に限る）
III 電気牧柵設置（耕作放棄地等へ電気牧柵を設置し放牧する）
補助率：I 対象経費の1/5（上限200千円）
II 対象経費の1/5（上限200千円）
III 設置費の1/2（上限70千円） ※有害獣対策事業補助金と同率



実績内容

I 畜舎等施設	4件	699,716円
II 生産機械	13件	1,869,265円
III 電気牧柵	1件	67,237円
合計		2,636,218円